



2025年4月14日

各位

会社名 株式会社コパ・コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 吉村 泰助
(コード番号:7689 東証グロース)
問合せ先 経営企画室長 吉川 秀人
(TEL:03-5724-4302)

特別損失(減損損失)の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年4月12日に公表いたしました2025年2月期通期(2024年3月1日~2025年2月28日)の業績予想と本日公表の通期実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上の内容

当社が保有するわくたん事業におけるソフトウェア資産などの事業用資産について、事業環境の変化を踏まえた修正規制や今後の見通しなどを検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、159百万円の特別損失を計上することとしました。

2. 2025年2月期通期業績予想と実績値との差異(2024年3月1日~2025年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,550	3	3	1	34 銭
今回実績(B)	2,052	△281	△278	△437	△147 円 75 銭
増減額(B-A)	△498	△284	△281	△438	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 2024年2月期	2,205	△371	△371	△1,281	△432 円 63 銭

3. 差異の理由

売上高に関して、業績予想 2,550 百万円に対して、2,052 百万円の着地となりました。売上高が未達になった主な要因は、既存商品の「骨盤整隊カシャー」 「ゴムボンつるつる」、新商品の「99Tsukumo 傘」などは好調に推移したものの、梅雨から夏に向けた商品の売上が当初想定していた数量を下回ったことと、また TV 通販をメインとして想定していた新商品のキッチン用品について、リニューアル後に企画提案することとしたものの、リニューアル品の発売開始が 2025 年 3 月にずれ込んだことが要因となっております。

販売チャネル別について、ネット通販はほぼ予定どおりに推移したものの、ベンダー販売にて新商品の導入および新たな販売先の開拓が遅れたこと、TV 通販においては梅雨から夏に向けた商品の売上

が当初想定していた数量を下回ったこと、SPにおける動画制作の受注が想定以上に伸びなかったことなどが原因となっております。

売上原価については、粗利率の高いベンダーチャンネルとわくたん事業の売上が伸び悩んだため、当初想定していた利益率を下回っております。

販売管理費につきましては、組織の再構築に追加費用をかけたことなどから、結果として営業損失は281百万円となりました。

またわくたん事業について、当初想定していた収益が見込めないことから、ソフトウェア資産等について159百万円の減損損失を計上したことにより、結果として当期純損失は437百万円となりました。

以上